

## 電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
http://www.rhythm.co.jp

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1804)

### 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

#### 図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

Ⓛは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

#### ⚠ 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**Ⓛ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**  
必ず守る  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**  
禁止

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れてない。

**⊘ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

#### ⚠ 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

**Ⓛ 電池の⊕を正しく入れる**  
必ず守る  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

**⊘ 強い振動や衝撃を与えない**  
禁止  
故障や破損の原因になります。

**⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**  
禁止  
さびや故障の原因になります。

**⊘ めれた手でさわらない**  
禁止  
さびや故障の原因になります。

**⊘ 分解や改造をしない**  
分解禁止  
けがや故障の原因になります。

**⊘ 下記のような場所では使わない**  
禁止  
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 火気のそば。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

### 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

#### ■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

#### ■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きを電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

### Ⓛ 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、電池ランプが2秒に1回赤く点滅します。電池ランプが点滅したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。電池ランプが点滅した状態で放置すると、報時したときや受信して時刻を修正するときに、針が早送り状態になることがあります。また、電池からの液もれの原因となりますので、必ず新しい電池に交換するか電池を取り出してください。

#### ⚠ 注意

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 報時をまったく使用しないと電池が長持ちしますが、長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕を逆に入れてない。



### おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ \*結露しないこと  
時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度  
時分針 目盛りに対して±3度  
標準電波を受信しない場合  
平均月差±20秒(常温中のクオーツ精度)  
報時精度 表示時刻に対して±1秒  
使用電池 単1形マンガン乾電池  
JIS規格R20P 4個  
電池寿命 約1年  
標準電波の受信に成功し、報時を音量最大で17回/日行ったとき  
報時機能 毎正時にメロディを奏で、同時に文字板が回転  
ON/OFF スイッチ切り替え  
自動鳴り止め 明暗センサーと連動して暗所停止  
メロディ 全30曲 分類3群 スイッチ選択方式  
音量調節 ロータリー式ボリューム  
モニター メロディの試聴可能  
電池交換時期 電池ランプが2秒に1回点滅  
お知らせ機能  
展示モード 文字板が展開した状態になる  
回転飾り 装飾用

電波受信機能 標準電波受信による時刻修正  
受信局 福島局/九州局 自動選択  
受信ON/OFF ボタン操作  
受信回数 最少1回/日 最多6回/日  
電波サーチ あり

自動受信について  
受信状態により、受信回数は変化します。  
受信開始時刻  
2時16分20秒 3時16分20秒  
4時16分20秒 12時16分20秒  
13時16分20秒 14時16分20秒  
\*2時16分20秒は必ず受信を行う。

- アルカリ乾電池を使用することができますが、マンガン乾電池と混ぜて使用をしないでください。
- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

#### 付属品

お試用電池 4個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

### お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4MN○○○

(フリーダイヤル)  
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

### 電波時計について

#### 電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

#### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(http://jjy.nict.go.jp)

#### 標準電波の送信停止について

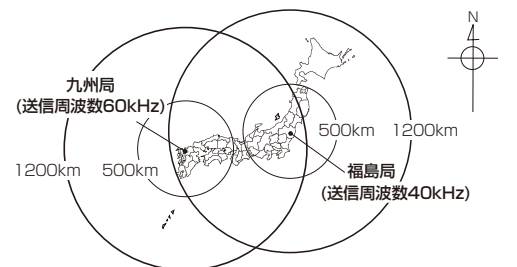
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

#### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

#### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

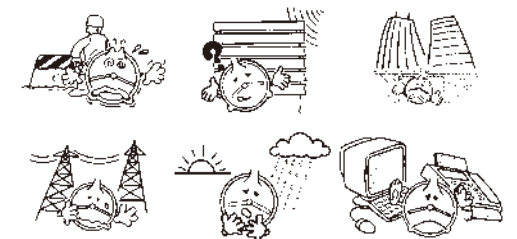


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



### お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

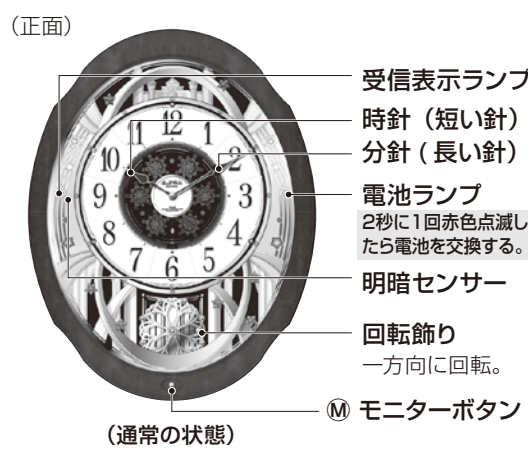
### 電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別してください。

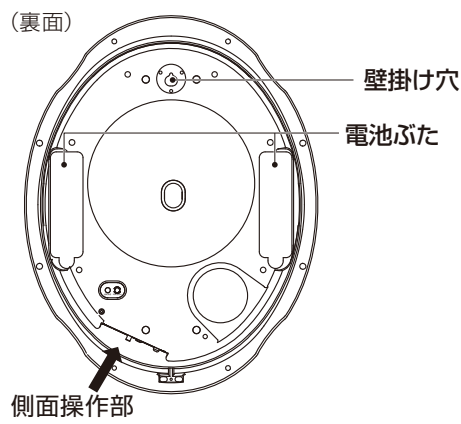
### 静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押ししてください。

図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



※電池ランプについては、裏面の**③電池の交換時期お知らせ機能**参照。



### 報時するときの動きについて



**文字板の動き**  
 ○動いている時間とメロディが鳴っている時間は一致しません。  
 ○電池を入れたときに動くことがありますが、故障ではありません。

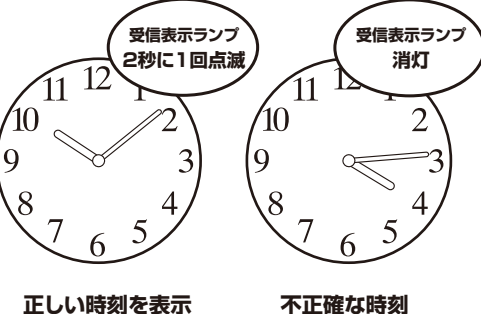
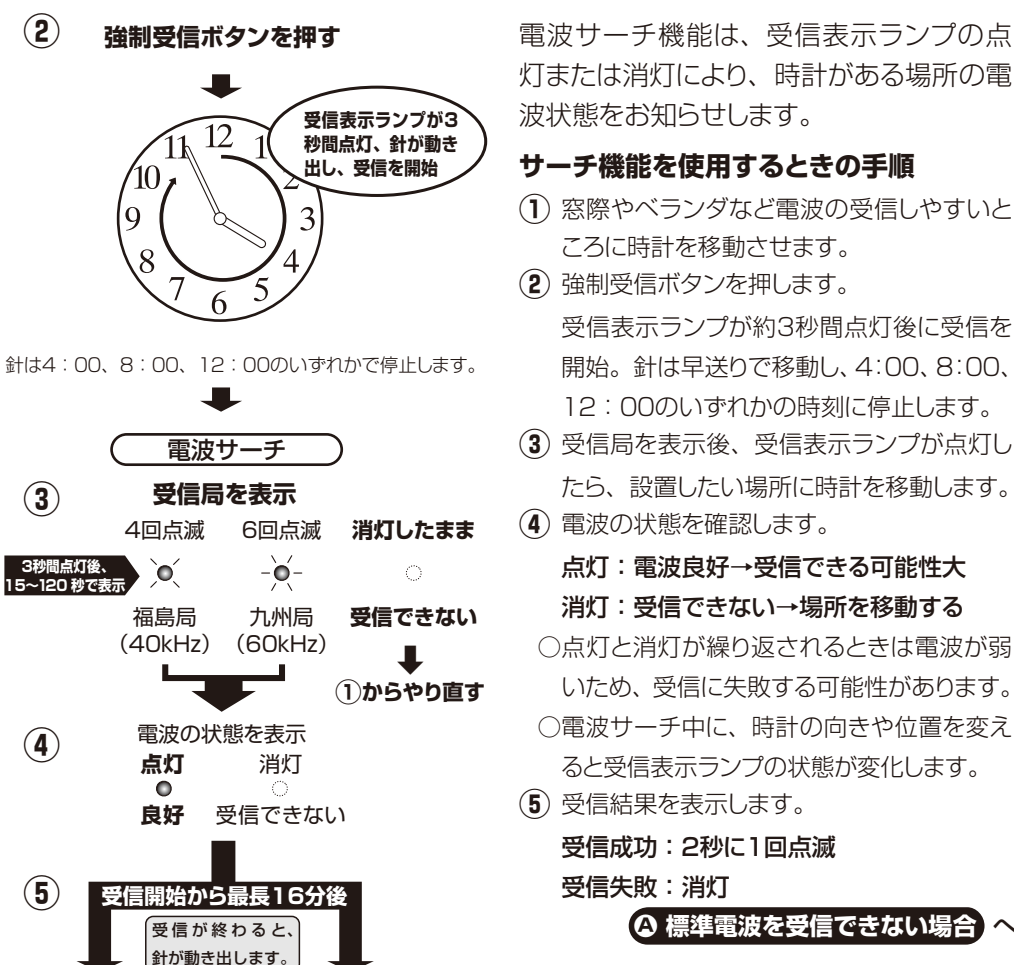
**針の動き……通常の時刻表示**  
 時計・分針 : 10秒に1回動きます。  
 ※自動受信により、時刻を修正するときは早送り移動したり、停止することがあります。

## 明暗センサーのはたらき

**明暗センサーが暗いと判別した場合**  
 ▶ 受信表示ランプの消灯  
 ▶ 報時と報時のときの文字板の動きを停止

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

## 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使い方



## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ざわり取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

## 手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。  
 つぎのような状態のときは、分針が10秒に1回動くようになってから操作してください。  
 ▶時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いている。

時刻合わせボタンを押して時刻を合わせてください。  
 ○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。  
 ○時刻合わせボタンを押してつづけると早送りで動きます。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ **③電波受信機能のON/OFF操作**参照。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- ① 報時スイッチをOFFにし、音量を最小にする  
報時スイッチがONのときに電池を入れるとメロディが鳴ることがあります。
- ② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形マンガン乾電池を入れる  
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
- ③ 強制受信ボタンを押す **標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方**参照  
受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。また、針は4時、8時、12時のいずれかの時刻で受信が終わるまで停止します。  
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。  
※受信中はボタンの操作をしないでください。
- ④ 時計を掛ける **時計の掛け方**に従い、時計を確実に掛けてください。
- ⑤ 受信結果を確認する  
受信表示ランプが2秒に1回点滅すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探るか、**A標準電波を受信できない場合**を参照してください。

## 報時の設定

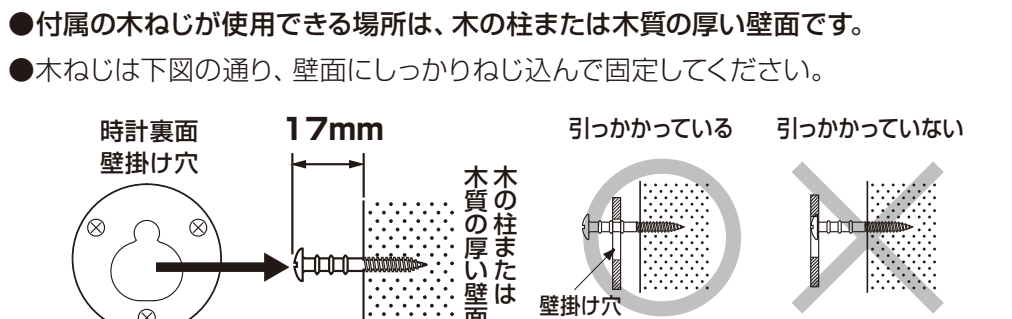
報時は、毎正時にランプが点滅しながらメロディを1曲奏でます。お好みに合わせて報時機能を設定してください。メロディは報時するたびに曲目が変わります。

- ① 報時スイッチ  
ON : 報時する  
OFF : 報時しない
- ② ボリューム  
○ : 小さくなる  
○ : 大きくなる
- ③ 展示ボタン
- ④ 選択スイッチ  
A : CLASSICS クラシック音楽  
B : POPULAR ポピュラー音楽  
C : CHRISTMAS SONGS クリスマス・ソング
- ⑤ 展示機能について  
③展示ボタンを押すと、**展開**の図の状態になります。再度展示ボタンを押すと閉じます。  
※報時しているときは、展示ボタンを押しても機能しません。
- ⑥ 報時スイッチ  
ON : 毎正時にメロディを1曲奏でます。  
OFF : 報時しません。  
※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると報時をしません。→ **明暗センサーのはたらき**参照
- ⑦ 選択スイッチ  
報時するメロディの種類を選択してください。  
曲目は、時計裏面に表示してあります。
- ⑧ ボリューム (音量の調節)  
メロディの音量を調節できます。モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回し、調節してください。
- ⑨ モニター (メロディの試聴)  
モニターボタンを押すと、メロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。  
○選択スイッチで選択された種類のメロディを奏でます。  
○つぎの正時には、モニターしたメロディのつぎのメロディを奏でます。  
※時刻ごとにメロディを固定することはできません。  
※曲順を変えることはできません。  
※時刻合わせボタンを操作して正時、例えば10時に合わせても報時をしません。

## 時計の掛け方

- 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

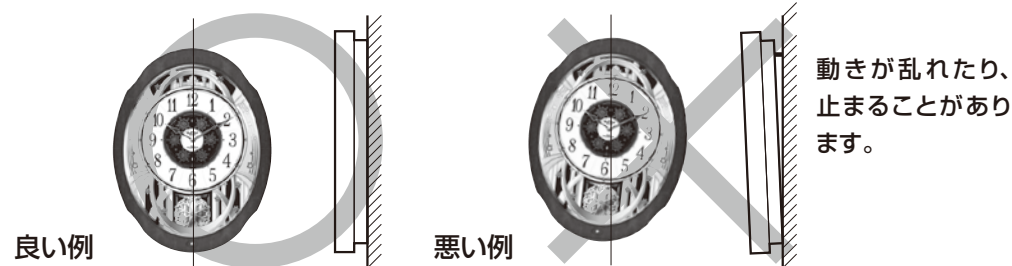
## 木の柱または木質の厚い壁面の場合



## その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

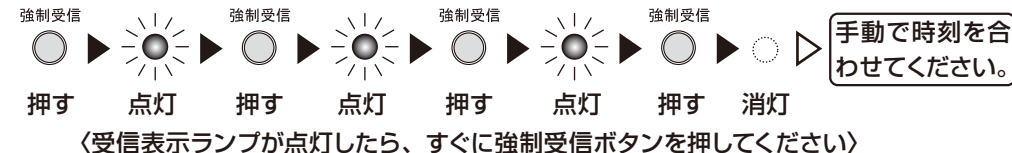
## 時計を垂直に掛けてください



## 標準電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには (停止するには)  
 図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

電波受信機能をONにするには (開始するには)  
 工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。  
 電波受信機能がOFFの状態からONの状態にするには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。  
 ※電池を取り出しても設定を長い時間保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。